

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	()
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	豊丘村 (204161)
地域名 (地域内農業集落名)	勝負平団地 (中部2)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	10 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	10 ha
② 田の面積	0 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	10 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	1 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	- ha
(備考) 数値は単位未満で四捨五入 「0」・・・表章単位に満たないもの 「-」・・・皆無	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

当団地は河野中部地区の中段に位置する緩傾斜の団地であり、大きく上段、下段の2つに分けられる。かつて整備された小渋川土地改良区の水利施設は使用できない状態になっているが、上段の調整池の水が利用できるよう調整池付近に立ち上がりが設けられている。

上段は、柿、ぶどう、りんご等の栽培が行われている部分もあるが、多くは荒廃したまま放置され、釜久保地籍では山林化している部分もある。下段の多くは村内畜産農家に貸し出され牧草が作付されているほか、一部では柿や南天が栽培されている。下段最西部ではすばらしい眺望を生かし、河野区により農村公園が整備されハナモモの時期には多くの観光客が訪れる。

人・農地プランにおける団地内関係者の検討により当団地内に滞在型市民農園(クライנגアルテン)を開設する計画が進められ、県営中山間総合整備事業を取り入れ、団地内の農道改良、水道管布設、造成工事が行われている。クライングアルテンの簡易宿泊施設及び交流施設の建築工事は令和7年度に国庫補助事業を取り入れ事業化する予定である。開設後の運営主体の検討を現在進めており、都市部の利用者を迎え入れるに当たり、現在の荒廃した農地の再生が課題である。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

上段では、新たに開設する滞在型市民農園を核とし、周辺を含め遊休荒廃農地の再生を図るほか、現在の担い手による耕作が継続されるようにする。下段は畜産農家への集積・集約化を継続して行う。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農地中間管理機構への貸付けを進めつつ、耕作ができなくなった農地があれば、担い手の農作業に支障がない範囲で農業を担う者により農地利用を進める。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	40	%	将来の目標とする集積率
			60 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
下段では牧草を作付する畜産農家への集約を進めるほか、上段は認定農業者や新規就農者への集約を進めるよう利用調整を行う。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
所有者から貸付の意向が確認された農地は、担い手となる畜産農家、果樹農家や新規就農者に集積・集約化する。
(2)農地中間管理機構の活用方法
農地の集積・集約化をする場合は、農地中間管理機構の活用を図る。
(3)基盤整備事業への取組
小洪川土地改良区の畑灌施設が使用できない状態になってから農地所有者は賦課金だけ納める状況が続いており、対策が必要である。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
新たに開設する滞在型市民農園(クラインガルテン)の周辺に、観光農園的な利用ができるエリアを設け、収穫体験等ができるようにする。また、農地所有者が現在自作している農地については、当面は自作の継続を図り、後継者にスムーズに引き継げるように支援していく。貸付可能な農地については担い手となる畜産農家、果樹農家や新規就農者等新たな担い手へ斡旋していく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
JA等に作業を委託

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☒ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

①鳥獣被害が多いことから、団地山側からの鳥獣の進入を防ぐ防護柵設置の検討も必要。
⑦森林化し農地への復旧が困難な山付けの農地については、将来的に山へ戻すことも検討する。
⑩滞在型市民農園(クラインガルテン)の受入体制の構築、周辺農地の再生について、団地内農地所有者、耕作者、地域(河野区)が一体となった取組みが必要。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
	別紙		ha	ha		ha	ha		
計	35経営体		5.97 ha	ha		5.97 ha	ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1	みなみ信州農業協同組合	水稻作業一式・柿剪定	水稻・柿
2	きたむら田植組合	水稻作業一式	水稻
3	大池原・柏原営農組合	水稻作業一式	水稻

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。
また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合、氏名を削除するなど配慮してください。
必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)					
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考	
1	認農	〇〇〇〇	柿・ぶどう	0.41 ha	ha	柿・ぶどう	0.41 ha	ha	33	
2	利用	〇〇〇〇	柿	0.02 ha	ha	柿	0.02 ha	ha	58	
3	利用	〇〇〇〇	管理のみ	0.10 ha	ha	管理のみ	0.10 ha	ha	63	
4	利用	〇〇〇〇	管理のみ	0.05 ha	ha	管理のみ	0.05 ha	ha	77	
5	利用	〇〇〇〇	管理のみ	0.05 ha	ha	管理のみ	0.05 ha	ha	87	
6	認農	〇〇〇〇	柿・梅	0.96 ha	ha	柿・梅	0.96 ha	ha	88	
7	認農	〇〇〇〇	柿・梅	0.16 ha	ha	柿・梅	0.16 ha	ha	90	
8	利用	〇〇〇〇	管理のみ	0.10 ha	ha	管理のみ	0.10 ha	ha	91	
9	利用	〇〇〇〇	管理のみ	0.20 ha	ha	管理のみ	0.00 ha	ha		
10	利用	〇〇〇〇	管理のみ	0.06 ha	ha	管理のみ	0.06 ha	ha	97	
11	利用	〇〇〇〇	柿	0.05 ha	ha	柿	0.05 ha	ha	98	
12	利用	〇〇〇〇	柿	0.20 ha	ha	柿	0.20 ha	ha	99	
13	利用	〇〇〇〇	管理のみ	0.01 ha	ha	管理のみ	0.01 ha	ha	109	
14	利用	〇〇〇〇	管理のみ	0.04 ha	ha	管理のみ	0.04 ha	ha	113	
15	利用	〇〇〇〇	管理のみ	0.02 ha	ha	管理のみ	0.00 ha	ha		
16	利用	〇〇〇〇	管理のみ	0.13 ha	ha	管理のみ	0.13 ha	ha	118	
17	利用	〇〇〇〇	管理のみ	0.17 ha	ha	管理のみ	0.17 ha	ha	123	
18	認農	〇〇〇〇	柿	0.12 ha	ha	柿	0.12 ha	ha	124	
19	到達	〇〇〇〇	管理のみ	0.03 ha	ha	管理のみ	0.03 ha	ha	139	
20	認農	〇〇〇〇	牧草	0.56 ha	ha	牧草	0.56 ha	ha	179	
21	認農	〇〇〇〇	牧草	0.64 ha	ha	牧草	0.64 ha	ha	183	
22	認農	〇〇〇〇	りんご	0.56 ha	ha	りんご	0.00 ha	ha		
23	利用	〇〇〇〇	管理のみ	0.07 ha	ha	管理のみ	0.07 ha	ha	284	
24	認農	〇〇〇〇	柿	0.24 ha	ha	柿	0.24 ha	ha	684	
25	利用	〇〇〇〇	管理のみ	0.06 ha	ha	管理のみ	0.06 ha	ha	722	
26	利用	〇〇〇〇	管理のみ	0.11 ha	ha	管理のみ	0.11 ha	ha	787	
27	到達	〇〇〇〇	柿	0.02 ha	ha	柿	0.02 ha	ha	790	
28	利用	〇〇〇〇	管理のみ	0.03 ha	ha	管理のみ	0.03 ha	ha	836	
29	利用	〇〇〇〇	管理のみ	0.11 ha	ha	管理のみ	0.11 ha	ha	841	
30	到達	〇〇〇〇	柿	0.07 ha	ha	柿	0.00 ha	ha		
31	利用	〇〇〇〇	南天	0.12 ha	ha	南天	0.12 ha	ha	865	
32	認農	〇〇〇〇	柿	0.19 ha	ha	柿	0.19 ha	ha	868	
33	利用	〇〇〇〇	管理のみ	0.02 ha	ha	管理のみ	0.00 ha	ha		
34	利用	〇〇〇〇	管理のみ	0.29 ha	ha	管理のみ	0.06 ha	ha	902	
35	利用		柿	0.00 ha	ha	柿	0.27 ha	ha	864	
36		未定		ha	ha		0.83 ha	ha		
35	計	35経営体		5.97 ha	ha		5.97 ha	ha		